

農業の振興と有害鳥獣対策

農地の有効活用、遊休化の防止

サルの囲い罠が一定の効果

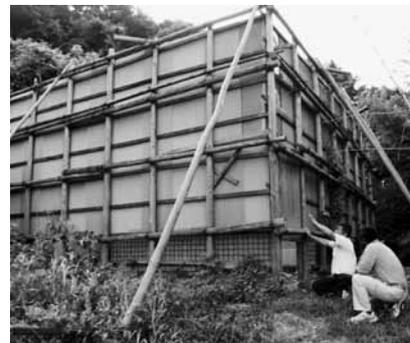
農業の振興につきましたは、経営所得安定対策、多面的機能支払、新規就農・経営継承総合支援事業を実施するほか、今年度から第4期対策となる中山間地域等直接支払事業を引き続き推進してまいります。

また、農業従事者の高齢化、後継者不足が進む中、水田農業活性化事業、農地利用集積円滑化事業等を推進し、農地の有効利用並びに遊休化の防止に努めてまいります。

一方、当町農業の要となる農業用水につきましたは、日高幹線水路・鉢巻水路の水源の基となる若野頭首工の老朽化が著しく、今年度から県営による農業基盤整備促進事業により、改修工事を4か年計画で実施していく計画であり、その改修費用の一部を負担し、安定的な農業用水の確保に努めてまいります。有害鳥獣対策につきましたは、イノシシ、タヌキは減少傾向にあ

りますが、まだまだ被害が発生している状況であり、対応に迫られている農家の方々のご苦労は、並大抵のことではなく、喫緊の課題であるため、各支援を今年度も引き続き実施してまいります。特にサルにつきましたは、現在5基の囲いわなを設置しており、平成25年度は31頭、平成26年度では現在までに120頭を捕獲しており

ます。このように一定の効果が確認されていることから、県のリースや町の補助制度により、地域の方々と関係者等と連携を図り、被害の減少に努めてまいります。



サルの囲い罠

水産業・商工業・観光業振興

既存漁港施設の老朽度を調査

観光分野で日高地方各市町が連携

次に、水産業の振興につきましたは、漁業資源の減少や、漁価の低迷、漁業従事者の高齢化等、漁業を取り巻く環境は非常に厳しく、深刻な問題となっております。このような中、水産資源の確保と漁価の安定等を図るため、今年度も引き続き、クエ、ヒラメ、サザエ、伊勢エビ等の放流事業を支援してまいります。

このほか、小浦・比井・田杭漁港におきまして、既存漁港施設の長寿命化を図るため漁港施設機能保全事業により、施設の老朽度の調査を実施するとともに、町管理の5漁港につきましたは、漁港区域および海岸保全区域の測量を実施し、データ化による区域の管理を行ってまいります。

商工業の振興につきましたは、小規模事業者の経営安定を図るため、小企業経営改善資金の利子補給制度の活用を商工会を通じ、引き続き促進してまいります。

観光業の振興につきましたは、クエ、熊野古道、西山および海水浴場等、恵まれた観光資源を生かしつつ、PR活動を通じて誘客に努め、観光産業の振興を図ってまいります。このほか、当町で実施している軽トラ市について、今年度から日高地方の各市町が連携し、リレー方式で開催することとなり、地元でとれた新鮮な野菜・果物等を地域住民や観光客等に提供するとともに、地元産品のPRに努めてまいります。



阿尾漁港



1月開催の軽トラ市

また、本年9月には和歌山国体が開催されます。これを好機とし、当町はもとより、日高地方関係市町と連携を図り、特産品、観光のPRを図ってまいります。

一方、温泉館「海の里」につきましましては、オープンから15年目を迎えます。昨年度は、レジオネラ菌の発生や天候不順、小浦峠崖崩れによる県道の通行規制等により、利用者のみなさまには

大変ご迷惑をおかけしました。今後は、安心してご利用いただけるよう、一層の安全対策を実施してまいります。

また、昨年12月末には、食堂部へ出店されていた業者が撤退し、年明けから食堂部を閉鎖している状況が続いています。現在まで計4回にわたり、出店業者の募集を行いました。出店業者が立っていない状況です。今議会では、食堂部への出店に際し、大きな負担となつていいる使用料について減額改正を行い、業者が応募しやすい環境を整えるとともに、よりよいサービス向上と増客に努め、利用者みなさまにご満足いただける運営に努めてまいります。

道路交通網の整備

県道・町道における工事継続や計画

長さ2メートル以上の橋りようの点検

住民の日常生活や地域経済、社会活動の維持発展に道路は欠くことのできない社会資本であり、町づくりの骨格形成並びに

町土の均衡ある発展を図るうえからも、住民生活と密接に関連する生活道路をはじめ、基幹交通体系となる幹線道路網の整備

を計画的に行つてまいります。

県道につきましては、継続事業として、県道井関御坊線原谷地区におきまして、昨年度に引き続き工事を実施してまいります。

また、県道御坊由良線の田杭・阿尾間、比井・産湯間、県道柏御坊線の柏・中志賀間につきましては、早期の工事実施に向け取り組んでまいります。

「生きる力」を育む教育活動

日高中学校屋内運動場天井等の改修

学校支援員の加配

子どもたちが明日の日高町を担う人材として成長していくことができるよう小・中学校の連携強化のもと、自然や産業、人材などの教育資源を生かしながら、

年度においても、備品等の整備を行いながら教育環境の整備・充実に努めてまいります。

確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視した「生きる力」を育む教育活動の推進、安全対策の強化を進めてまいります。

また、昨年度の学校支援員は、小学校に7名、中学校には2名を加配し、普通学級での個に応じた学習支援や発達障害等をもつ児童生徒への学習支援を行つてまいりました。今年度は中学校への加配を1名増員し、支援が必要とされる全ての児童生徒に対応できるように配置し、学習環境の一層の充実を図っています。

児童生徒が安全・安心で快適な学校生活がおくれるよう、天井等の落下防止対策として、日高中学校屋内運動場の吊り天井を撤去・改修するとともに、今

町道関係では、社会資本整備総合交付金事業により、町道比井小学校川添線の拡幅改良工事を引き続き実施するとともに、津波浸水想定区域からの避難に効果的な町道高家中央線について、測量設計を実施するほか、町内にある長さ2メートル以上の橋りようについて、長寿命化を図るための橋りよう点検を実施いたします。